

黒南風が木々をざわめかせているこの頃でございますが、お変わりございませんでしょうか。

鋼和会会員 浜 正子様よりお便りを頂きました。

先日掲載しました「100歳を目指して」ですが、シニアサロン2ヶ所より講師依頼があったそうです。コロナ禍の影響で開催時期は未定とのことですが、楽しい講演になることをお祈りしております。

さて この度、浜様がエッセイ倶楽部へ投稿された「4月1日」を紹介いたします。

ぜひご一読くださいませ。



4月1日

浜 正吉



エイプリル・フール！

いいえ、私の 80 回目の誕生日でした。80 年良く頑張りました。
今年は、家内と一緒に 50 年を迎えます。

3 月末に、家内から「4 月 1 日、時間を空けて下さい」との話がありました。何か特別の用事があるのかと思いましたが、老後の節日の誕生日を祝ってくれるとの事でした。

何時になく優しいので、少々面映い感じがしました。何か希望があるかと聞かれましたが、特に無いので家内に任せる事にしました。

当日は、朝から快晴で暖かな日和でした。ゆっくりとした家内の運転で、長沼、由仁、千歳の春浅い長閑な田園風景を見ながら、ドライブを楽しみました。行き交う車も少なく人も見当たりません。真黒な畑の土の上には、未だ雪が残り、強い日差しで蒸気が立ち登っていました。

車の中では、普段話しているようで話していない、聞いているようで聞いていない事を話す事が出来ました。また、これからの 2 人の老後の在り方、特に健康、認知、介護、相続等について双方の思いを話しました。50 年連れ添っていますが、2 人で真剣にゆっくり会話を楽しんだのは、久しぶりでした。

途中、由仁町のファーム・レストランに立ち寄り、評判のスープカレーを食べました。噂に違わず、とても美味しい味でした。ゆっくり会話を楽しみながらの昼食でした。帰りのお土産は、私の好物のアップルパイを買ってくれました。

帰る道すがら、“露のとう”のつぼみを採り、夕食時に天ぷらにし、粗塩を付けて食べました。とても新鮮で美味でした。
この日の会計は、全て家内持ちでした。

2 人だけの、貴重な一日を計画してくれたもう一つの理由を聞きました。数人の友人とお茶会をしていた時に、隣りに居た人から「内の爺！早く死ねばいい！」との声があったそうです。家内はびっくりしてその方に訳けを聞くと、ご主人がパチンコに行くのでお金の無心に、わざわざ来たとの事です。

その時は、この 2 人は本当に夫婦なのか、我が家はどうなっているか-

家内の心の中を駆け巡ったそうです。そして、我が家は決してそうならないようにしようと、心に強く決めたそうです。

本当の夫婦とは、老後の2人のありようだと思います。50年連れ添ってくれた家内に感謝し、家内の誕生日には忘れずにお返しするつもりです。

共白髪 次のステージ 増す絆

求めない すると見えます 愛の量

